

事業概要

国道129号は、平塚市の国道134号から厚木市を経て相模原市の国道16号に至る県土の南北主要交通軸ですが、厚木市域においては、東名厚木ICと接続していることなどもあり交通量が非常に多く、特に、県土の東西主要交通軸である県道22号(横浜伊勢原)と交差する戸田交差点では渋滞が慢性化していました。

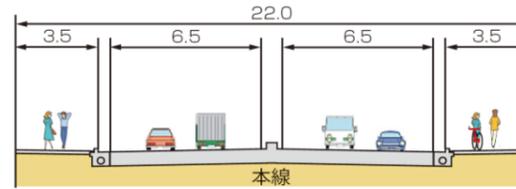
こうしたことから、県では、平成12年度から戸田交差点付近における交通の安全と円滑化を図るため、国道129号が県道22号をアンダーパスする「戸田交差点立体化」事業を進めておりましたが、平成29年3月25日に供用を開始しました。

また、国道129号は、中日本高速道路株式会社により事業中の新東名高速道路へ接続する道路となりますので、戸田交差点の立体化事業に併せて、新東名高速道路厚木南ICの料金所から国道129号までの「接続区間整備」についても、県が併せて事業を進めておりましたが、平成30年1月28日に新東名高速道路の開通に合わせて供用を開始しました。

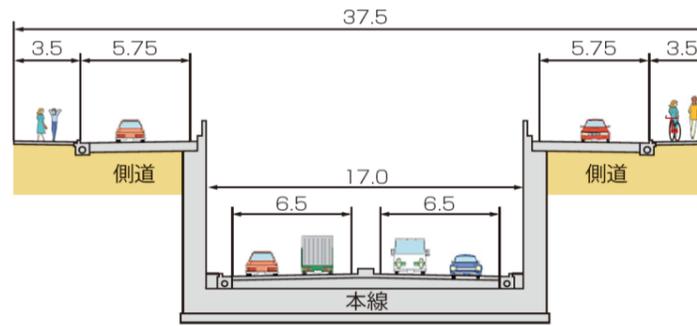
- 事業箇所 厚木市 戸田～酒井 地内
- 事業延長 戸田交差点立体化 約1,200m
新東名接続区間 約 500m
- 総事業費 約228億円
- 供用開始 平成29年3月25日(戸田交差点立体化)
平成30年1月28日(新東名高速道路 厚木南IC)

標準横断図

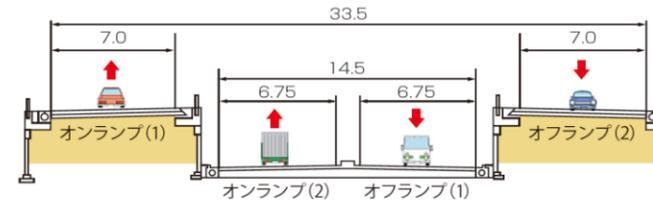
国道129号本線(標準部)



国道129号本線及び側道(戸田交差点立体部)



接続区間(新東名料金所側)



空からの写真



完成写真



平面図

